

グラウト管 ミエール

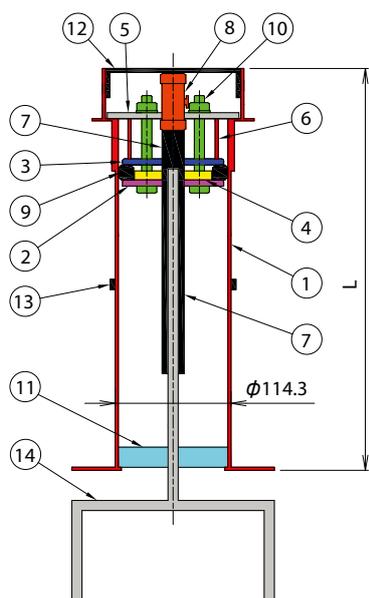
はじめに

沈下を許容して函体の底版下に空洞等を発生させない構造の柔構造樋門においても、函体底版下の実際の状況は調査をする必要があり、調査の結果空洞化が確認された場合は、グラウトを充填するなど対策が必要となります。

従来のグラウト管は、調査前に地下水の有無を確認できず、地下水が高い場合、噴出などにより、作業に危険が伴うケースが考えられます。

この度、従来の調査孔とグラウト管の長所を取り入れ、かつ作業の安全性を確認できるミエールを新たに柔構造樋門用として開発しました。

構造断面図



標準仕様

番号	品名	材質
①	グラウト管本体	SUS304
②	止水プレート	SUS304
③	支圧板	SUS304
④	拘束リング	SUS304
⑤	内装管支持プレート	SUS304
⑥	内装管	SUS304
⑦	ロッド	SUS304
⑧	開閉弁	SUS304
⑨	止水ゴム	CR
⑩	六角ボルト	SUS304
⑪	フィルター(土砂浸入防止)	合成繊維
⑫	キャップ	CR
⑬	水膨張ゴム	合成ゴム
⑭	沈下板	SUS304

L: 製品長

製品写真



特長

1. 調査時、蓋をワンタッチで取り外せる事で沈下状況が測定できるため、経年後でも容易に調査できる。
2. 従来のグラウト管の問題点であったキャップ開放による地下水の噴出を防止し、作業前に安全性を確認できる。
3. 沈下板により底版下空洞の発生状況を観測することができる。
4. グラウトカプラーを装着することで、グラウト材を圧入できる。
5. 沈下板を外すことで、側壁部用として使用できる。

■ 沈下状況の観測法



①キャップをワンタッチで取り外す。



②開閉弁を徐々に開放し内圧をゼロにする。(安全確認)



③開閉弁を貫通してピンボールを挿入する。



④ピンボールの挿入長を測定し初期値と比較して沈下量を判断する。



⑤初期値の確認及び測定結果をシールに記載する。



設置状況

■ ゴム材料の物理的性質

項目	単位	規格値		試験値		試験方法
		止水ゴム	キャップ	止水ゴム	キャップ	
硬 さ	---	A60 ± 5	A70 ± 5	A59	A72	硬さ試験 JIS K 6253
伸 び	%	350 以上		520	470	引張試験 JIS K 6251
引張強さ	N/mm ²	16 以上		19.9	17.9	引張試験 JIS K 6251
老化試験	硬さ変化	---	0 ~ +7	+2	+5	空気加熱老化試験 JIS K 6257 (70°C × 96h)
	伸び変化率	%	-30 以上	-6.1	-4	
	引張強さ変化率	%	-20 以上	-12.4	-5	
圧縮永久ひずみ率	%	30 以下		14	26	圧縮永久ひずみ試験 JIS K 6262 (70°C × 24h 25% 圧縮)
耐水性 (質量変化率)	%	5 以下		2	1	浸せき試験 JIS K 6258 (23°C × 168h)

(社内規格)

ミエールに使用する鋼材は、JIS 規格品を採用しております。

東京ファブリック工業

支 店

札幌 盛岡 仙台 宇都宮 新潟 東京 横浜 名古屋
金沢 京都 大阪 高松 広島 福岡 鹿児島



お問い合わせ先

本 店

〒163-0429 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル29階
URL : <https://www.tokyo-fabric.co.jp/>